

浜松市議会議員

田口 章 後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053 - 447 - 3820
夜 053 - 440 - 7100

平成 21 年 4 月 1 日

創ろう！元気な浜松

厳しい今こそ行財政改革の好機

浜松市の行財政改革等の進捗状況

新年度のスタートは雨上がりの朝となりました。取り巻く状況は、依然、厳しい中ですが、こういうときだからこそ、さらなる行財政改革が必要です。

少子高齢化の中、ムダを無くし、必要な市民サービスに投資できるよう、“雨の上がる”のを待ちながら、引き続きガンバります。

4月は新入社員が入ってくる新たなスタートの月ですので、私も「初心」に帰って、選挙前にみなさんにお約束した「3つの公約」に沿って、最近の行財政改革の取り組み状況や課題について、抜粋してご報告します。



1. 行財政改革

徹底した行財政改革をおこない、筋肉質で強い自治体づくりを進めます

【チェック機能の充実】

「行政がやる必要のない事業は中止、民でできることは民間委託、行政でやらなければならないものはいかに効率化するか」を基本に行政運営をチェックし、ムダ遣いを無くします。

【情報公開の推進】

行政課題や情報を共有化できるよう、情報公開を進めます。

【政策立案能力の向上】

みなさんの声を行政施策に活かすため、議会の政策立案能力を高める仕組みづくりを進めます。

2. 地域社会の活性化

市民協働を進め、地域コミュニティを活性化します

【子育て支援の充実】

子どもは社会の宝物。保育施設や放課後児童会の拡充など、地域全体で子どもたちを育てていける環境をつくれます。

【安心できる老後の応援】

超高齢社会を見据え、こころ豊かに老後を暮らせるよう、地域に密着した老人福祉施設や介護施設の整備を進めます。

【市民協働参画の推進】

豊富な知識や経験をもつ市民やNPOとの連携を深めます。また、ワークライフバランス(仕事と家庭生活の両立)を進め、老若男女、みんなが参加しやすい地域づくりを進めます。

3. 浜松らしい街づくり

浜松の特徴を活かした、キラリと光る街をめざします

【将来性あふれる街づくり】

「ものづくり」を基盤に音楽文化や観光資源を活かした、将来性あふれる街づくりを進めます。

【教育環境の整備】

明日の浜松を支える子どもたちの教育環境整備を進めます。家庭教育、地域教育の啓発を進めるとともに、学校教育では、社会人や地域のみなさんの参画を進めます。

【外国人との共生】

外国人集積都市として、まじめに働く多くの外国人との共生に必要な、学校教育や諸制度に取り組みます。また、一部でみられる犯罪行為等には厳格な対応を進めます。

1. 行財政改革

事業の見直しについて

H20 年度、浜松市では「事業仕分け」という手法を用い、市が行っている 61 項目の行政サービスについて、「廃止すべき」、「民間で実施」、「国・県で実施」、「市でやるが要改善」、「従来どおり実施」に区分する見直し作業を行いました。

やすとも市長は、施政方針の中で「全事業を対象に事業の見直しを実施する」としていますので、今年度は一層の事業の見直しが進められる予定です。

私たちの税金を有効に使うためにも、不必要なものは廃止し、民でできることは民で、行政でやらねばならないものについては効率化を図るよう、引き続きチェックしていきます。

外郭団体の統廃合

2 年前、H19 年 4 月時点で、浜松市の外郭団体は主なものが 22 あり、そのうち現在までに 4 団体が統廃合されました。

具体的には「(株)フォレストみさくぼ(H20.1)」、「引佐自然休養村公社(H20.3)」、「浜松都市開発(株)(フォルテ)(H20.12)」が廃止され、「静岡県西部地域地場産業振興センター」が、「浜松地域テクノポリス推進機構」に統合(H21.3)されています。

H21 年度の計画は、年度末までに「建設公社」を「まちづくり公社」に統合し、あわせて統合後の「まちづくり公社」の事業を見直す計画です。また医療センターを運営してきた「医療公社」は、「地方独立行政法人浜松医療センター」に改組されます。

いずれもいくつかの課題がありますので、引き続き注目していきます。

この他「土地開発公社」を H25 年度末に廃止する方針を打ち出しています。しかし、これらの他にも、「清掃公社」、「フラワー・フルーツパーク公社」など課題の多い団体や補助金頼みの団体、市の人的関与の大きな団体があります。ムダのない仕組みになっているかどうか、さらにチェックが必要です。

公営企業の見直し

浜松市の公営企業会計には「病院事業」「水道事業」「下水道事業」「国民宿舎事業」の 4 つがあります。

「病院事業」は、「リハビリテーション病院(聖隷福祉事業団に委託)」、「佐久間病院(直営)」の他、上記の「医療センター」があります。まずは最大組織である

「医療センター」の改組状況に注目です。

「上下水道事業」は、これまでも何度か報告していますが、借金をいかに減らしていくのが最大の課題です。

「国民宿舎事業」は、細江にある「奥浜名湖荘」を運営しています。以前は「かんざんじ荘」も運営していましたが、H19 年、遠鉄に経営移管しました。このとき「行政が旅館業をやるのが適切かどうか」が議論され、「奥浜名湖荘」についても「H22 年度末に民営化」という方向性が示されたと記憶しています。

2 月議会の環境経済委員会では、まったく議論にならなかったようですが、今後、議論を進めたいと思います。

なお浜松市が旅館業を行っている施設は、他にも天竜区にあります。いずれも「指定管理者制度」を導入していますが、こちらも同様に市で運営すべきかどうかの検討が必要です。ただ市場原理の働かない地域ですので、設置目的によっては、行政関与も仕方ないのかもしれない。こちらも検討します。

補助金の見直し

H21 年度予算では、団体運営補助金の一律カットなど約 8 億円の削減を行いました。

H20 年度予算では、補助金全体で 27 億円を削減しましたが、それに比べて今年度は足踏み状態です。

しかも行革審の評価はさらに厳しく、「額面上は 8 億円だが実質は 3 億円に過ぎない」と酷評。私はそこまでの分析はしませんでした。たとえば「一律カット」は、歳出削減ではあっても「行財政改革」とはいえませんが、今回のやり方には疑念を持っていました。補助金についてはさらなる事業評価が不可欠です。

H20 年度、市は「事業仕分け」の例にならって(?), 市民モニターなどに補助金の外部評価を依頼しました。しかし事業評価がキッチリなされたとは思えません。費用対効果や必要性の検証を含め、給付先の取り組みを分析すべきです。

これは市民に任せるより、むしろ議会の本来の役割(チェック機能)だと思いますので、全ての精査は難しいかもしれませんが、できるだけ今年度中にチェックしたいと思います。

補助金の見直しについては、7 年前(!)の「H13 年度包括外部監査」で、すでに指摘されていました。にもかかわらず、これまで改善をしてこなかった「ツケ」が回ってきたわけです。課題の先送りをせずスピード感を持って取り組まねばなりません。



予算編成の情報公開

H19年9月、私は初めての一般質問で「予算の情報公開」を求めました。すでに鳥取県など先進自治体では当たり前におこなわれていたことです。

前後して、私以外の議員からも予算編成過程の情報公開を求める意見は多く、H21年2月、浜松市は初めて「サマーレビュー」を公開しました。

今年度はさらに公開を進めるということですので、市民目線で、事業評価と予算決算をリンクさせて予算策定できるよう、改善を進めていきます。

なお、浜松市の情報公開はずいぶん進んできました。今回書いた補助金や外郭団体の状況は、すべて浜松市のサイトで公開されています。

関心のある方は、ぜひ、ご覧いただき、お気づきの点やご質問をお聞かせください。

2. 地域社会の活性化

「こども第一主義」はやすとも市長の最大のマニフェスト事業であり、子育て支援策については、この2年間で、大きく改善が進んでいます。

すでに“入院”医療費の助成制度を、従来の小学校入学前から中学生までに拡充しましたが、H22年度からは、“通院”医療費も助成できるよう制度を構築中です。

この件について、2月議会では、自民党などから制度の見直しを求める決議が出されました。

しかし、こうした子育て支援策を望む市民の声は大きく、私は制度の導入に向けてしっかりと支援していきたいと考えます。

新年度からは「不妊治療費」の助成を拡大します。「こどもが欲しいけどできない」という夫婦にとっては朗報です。また、4月からは医療センターに「パースセンター（助産師による分娩施設）」を開設し、赤ちゃんを産みやすい体制づくりに取り組んでいます。

一方、保育所待機児童、放課後児童会待機児

童は、いまだにゼロになっていません。共働き家庭が増える中、こうした行政支援の拡充が必要です。

高齢者施設の充実はまだ不十分です。とりわけ広い市域をもつ浜松では、天竜区での介護サービスなど課題はたくさんあります。

今年度はこうした福祉分野の課題と対応を考えていきたいと思っています。

3. 浜松らしい街づくり

教育環境

これまでも「学校施設の耐震化」や「通学路の安全確保」など、学校へ通うこども達の安全確保について、やすとも市長は積極的に取り組んでいます。

また、こども達一人一人に目が行き届く教育を進めるために、支援員の配置人数も年々拡充しており、H19年度予算ベースで526人だったのを、H21年度は660人に増員します。

30人学級についてもH20年度5校で試行、今年度も新たに5校で試行します。私も支援員制度との比較検証の中で、よりよいあり方を検討していきます。

昨年度スタートした「浜松教師塾」は今年度も継続実施します。教師のみなさんのスキルアップにつなげて欲しいものです。

マニフェストの「民間人校長」の登用をH22年度に控え、今年度、市の職員（前広聴広報課長）が、双葉小学校の校長になりました。新たな発想でこども達にとってより良い教育環境をつくることできるか注目していきます。

多文化共生

旧雄踏町役場を改修し、外国人学習支援センターを開設します。眼下の景気動向の中、就労に苦勞する外国人市民も多いですが、最大の壁は日本語です。このため、就労支援にもつながる「日本語教室」を開設する他、各種学校の認可を受けている「ムンド・デアレグリア学校」を2階フロアに移転する計画です。

小中学校への外国人就学支援体制も、支援員を8人11人に、サポーターを30人35人に増員します。しかしこれでもまだ十分ではありません。言葉を理解させ、勉強を理解させるためには、もっと個別に対応できる仕組みが必要です。

10年、20年後にこども達が日本社会で自立して生活できるような支援体制を整えたいと思います。

就労支援、生活支援については、厳しい状況はしばらく続くと思われるので、引き続き状況を確認していきます。

最近のブログから

卒業式のあいさつ(3/18)

入野中学校の卒業式。長男が3年間お世話になりました。

PTA 会長として次のような挨拶をしました。



みなさんおはようございます。そして、ご卒業おめでとうございます。先ほど卒業証書を受け取ったみなさんが、お辞儀をしながら通って行きました。

3年前の入学のときには、私より大きな子は少なかったと思いますが、もうほとんどが、私より大きくなっていました。ほんとにこの3年間で成長したんだと思います。

みなさんのまわりに凧が飾ってありますが、私も3月8日、卒業記念凧あげを見に行きました。雨が心配だったんですが、みんなの思いが通じたのか雲が晴れ、青空の下で6枚の大凧が見事に空を舞いました。そこで感じたのは、みなさんの一体感、パワー、元気よさでした。特に女子。その調子でこの学年の男子を引っ張ってあげて、これからもこの仲間を大切にしてください。(神聖な卒業式にもかわらず、ここで、笑いをとっちゃいました...^^;)

さて、みなさんはこの3年間で何が一番印象に残っていますか？私がとても印象的だったのは、昨年1月の「立志式」でした。発表した生徒のみなさんだけでなく、みんなが書いた色紙からも、「前進」とか「夢」とか「努力」とか、将来に向かってのみなさんの力強い「志」を感じました。

みなさんはそのとき配られた「吉田松陰」の言葉を覚えていますか？……

この続きはブログをご覧ください

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2009/03/318-8c50.html>

最新の記事はコチラからどうぞ！

創ろう！元気な浜松【浜松市議会議員 田口 章】

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

3月の活動報告

- 02(月) 議案説明会・本会議
- 04(水) 入野地区社協活動報告会
- 08(日) 佐鳴湖クリーン作戦
入野地区自治連会議
- 09(月) 全員協議会・本会議
- 10(火) 本会議
- 11(水) 本会議
- 12(木) 建設委員会
- 15(日) 多文化共生セミナー(文芸大)
- 18(水) 入野中学校卒業式
- 19(木) 入野小学校卒業式
斉木武志を支える会
行革審傍聴
- 21(土) 入野保育園卒園式
入野地区自治連期末総会
- 24(火) 全員協議会・本会議
- 25(水)~27(金) 行政視察
- 29(日) 入野地区組会所開き

4月の活動予定

- 01(水) 入野地区自治連会議
- 04(土) 入野保育園入園式
斉藤進を励ます会
- 05(日) 消防団西区支団発足式
- 06(月) 市民クラブミーティング
- 07(火) 入野小学校入学式
入野中学校入学式
- 08(水) しんばかつや政治セミナー
- 09(木) 藤原和博氏講演会
- 11(土) 33分団辞令交付式
- 12(日) 水防団入野分団入団式
磐田・袋井・掛川市議選告示
- 15(水) 浅野史郎氏を囲む勉強会
- 17(金) 北川正恭氏を囲む勉強会
- 19(日) 磐田・袋井・掛川市議選投票
- 20(月)~22(水)
自治体財政研修(大津)
- 23(木) 斉木武志を育てる会
- 25(金) 入野地区社協総会
- 26(土) 浜松地区メーデー
- 30(木) 都市計画審議会

【編集後記】「道の精なると精ならざると、業の成ると成らざるとは、志の立つと立たざるとに在るのみ」

これが卒業式で引用した吉田松陰の言葉です。高い「志」を持って進むことの大切さを教えてください。

議員 1 期目も折り返し点を過ぎ、初心に戻って市政をチェックしてみました。記述のないところは市政改善の進んでいない項目と考えていただいて結構です。議会改革、高齢者福祉、市民協働、まちづくり…、3年目の今年は、従来からのテーマに加え、これまで取り組んでこなかった点について、課題意識を持って市政の改善に取り組みたいと思います。引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。(章)